

	※代表製作者	共同製作者 1	共同製作者 2
※氏名	村田 健一郎		
※品目	江戸手描提灯		
※会社名	泪橋大嶋屋提灯店		
ホームページURL			

※1. 主力、代表商品

主力商品	江戸手描提灯
主な材質	和紙、竹 等

※2. 活かしたい技術(今回開発する商品にも使いたい技術)

立体物に文字や家紋、ロゴ等を手描くことができる技術を活かしたいです。

(東京の提灯業は分業になっており、描く作業が基本です。

提灯の火袋(本体)を製造している張り場は地方にあり、問屋を介して仕入するため、簡易な細工であれば施すことが可能ですが、ある程度提灯自体は既存の形になります。)

※3. チャレンジしたい商品

(2) デザイナーから提案してほしい

【具体的な内容】

現在、主な仕事は提灯に文字や家紋等を描き入れ、上下の木枠を取り付け仕立てます。

名前や店名、町会名、神社仏閣など固有名詞の注文が大半なので、基本オーダーメイドの商品です。

そこで、このプロジェクトにおいてその場で購入できる既製品でありながら、新たな唯一無二の商品をデザイナーさんの力をお借りして開発できればと志しております。

	商品画像	コメント
商品 1 ※主力・代表商品	<p>商品名：江戸手描提灯 image1.jpeg/form1_upload_file_62.jpeg</p> 	<p>最も普及されている弓張提灯各種。 注文に応じて様々な描き方や多色を使用することが可能です。 赤い提灯は文字をぼやけないようにするために黒文字を描いた後に縁を均等に残して塗っております。</p>
商品 2	<p>商品名：小田原提灯 image2.jpeg/form1_upload_file_63.jpeg</p> 	<p>現在、一般には普及されていませんが歌舞伎や舞台など時代劇で使用されています。 畳むと上下の木枠に収まり、コンパクトになります。 受注生産なので寸法など調整可能ですが、その分コストが高くなります。</p>
商品 3	<p>商品名：箱提灯 image3.jpeg/form1_upload_file_64.jpeg</p> 	<p>江戸時代に大名や武士が持っており、大名行列や花魁道中で使用されていた提灯。現在は歌舞伎の小道具として使用されています。蠟燭を出し入れる蓋の形状の細工や提灯を自立させるための棒は自店で製作しております。</p>